三遠南信自動車道（鳳来峡IC～浜松いなさ北IC）開通による整備効果の具体例

目　次

１．三遠南信自動車道とは　・・・・・・・・・・・・・１
２．鳳来峡IC～浜松いなさ北IC間及び
　　三遠南信自動車道が整備されると　・・・２
３．期待される整備効果　・・・・・・・・・・・・・３
（１）産業
・地域の企業活動支援　・・・・・・・・・・・・・・・３
・農産物（トマト）を通じた地域間交流の促進　・・・４
・産業イノベーションの創造への貢献　・・・・・・・５
（２）観光交流
・奥三河地域における観光交流の活性化促進　・・・・６
・浜名湖周辺エリアにおける観光交流活性化促進　・・７
（３）医療
・奥三河地域の医療サービス水準の向上への寄与　・・８
・救急医療体制の充実への寄与　・・・・・・・・・・９
（４）住民のくらし
・生活利便性の向上　・・・・・・・・・・・・・・・・10
・災害に強い道路ネットワークの構築　・・・・・・・11
（５）伝統芸能・文化
・地域固有の伝統芸能・文化の継承を支援　・・・・・12
・交流による伝統芸能の広がりと深まりを支援　・・・13

※整備効果事例は国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所が
平成23年8月～平成23年12月の期間に聞き取り調査を行った結果です。

1 三遠南信自動車道とは

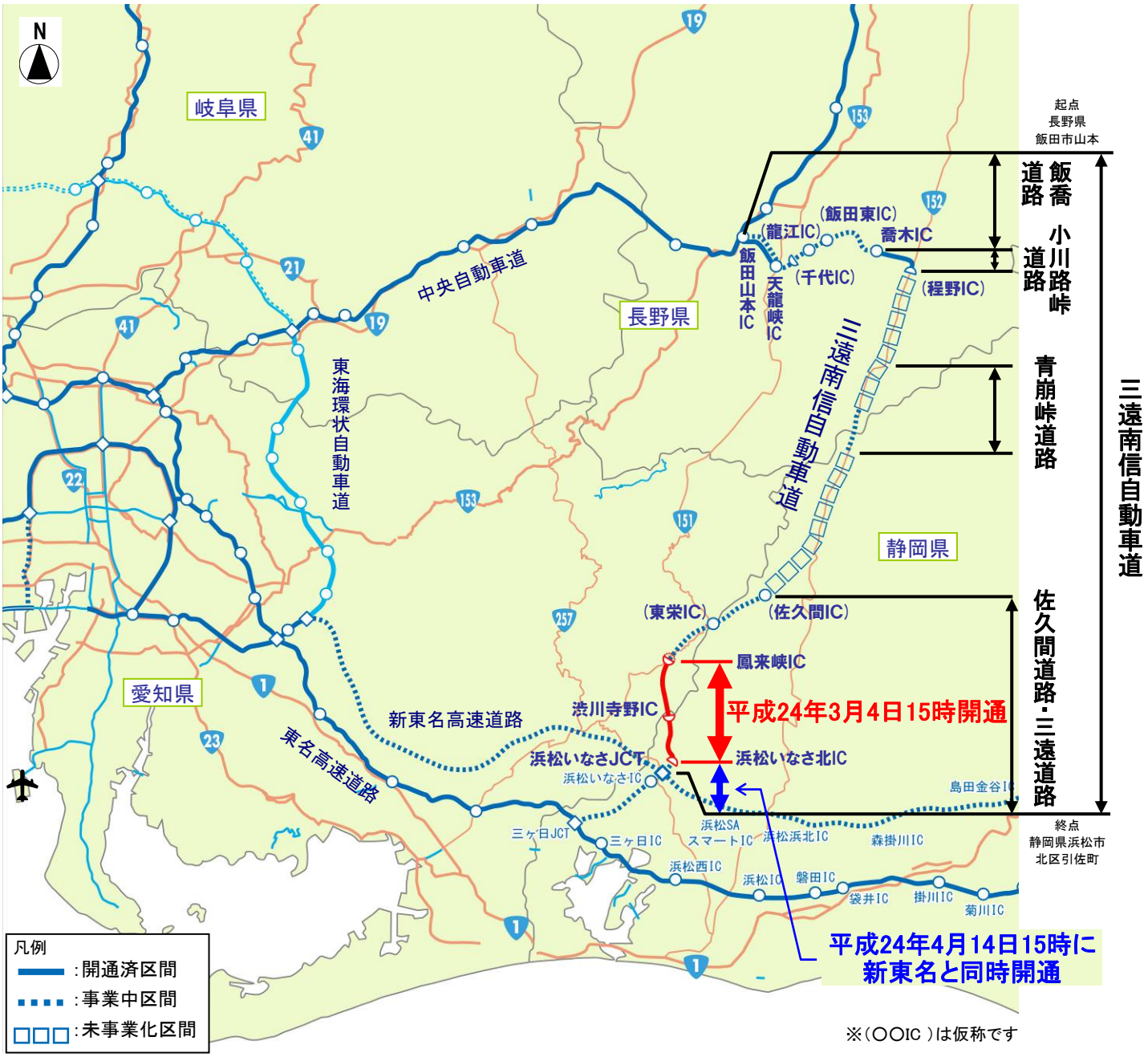
○三遠南信自動車道（国道４７４号）は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路※です。

○中央道、新東名と連絡し、地域間の連携強化、三河、遠州、南信州地域の秩序ある開発、発展に大きく寄与する重要な路線です。

○佐久間道路・三遠道路はこの三遠南信自動車道の一部を構成し、鳳来峡ＩＣ～浜松いなさ北ＩＣ間は**平成24年3月4日15時**に開通しました。

※高規格幹線道路とは・・・全国的な自動車高速交通網を形成する自動車専用道路のことで、高速道路や一般国道の自動車専用道路で構成され、全国14,000kmの整備の計画が位置付けられています。

鳳来峡IC～浜松いなさ北IC間が平成24年3月4日15時に開通しました

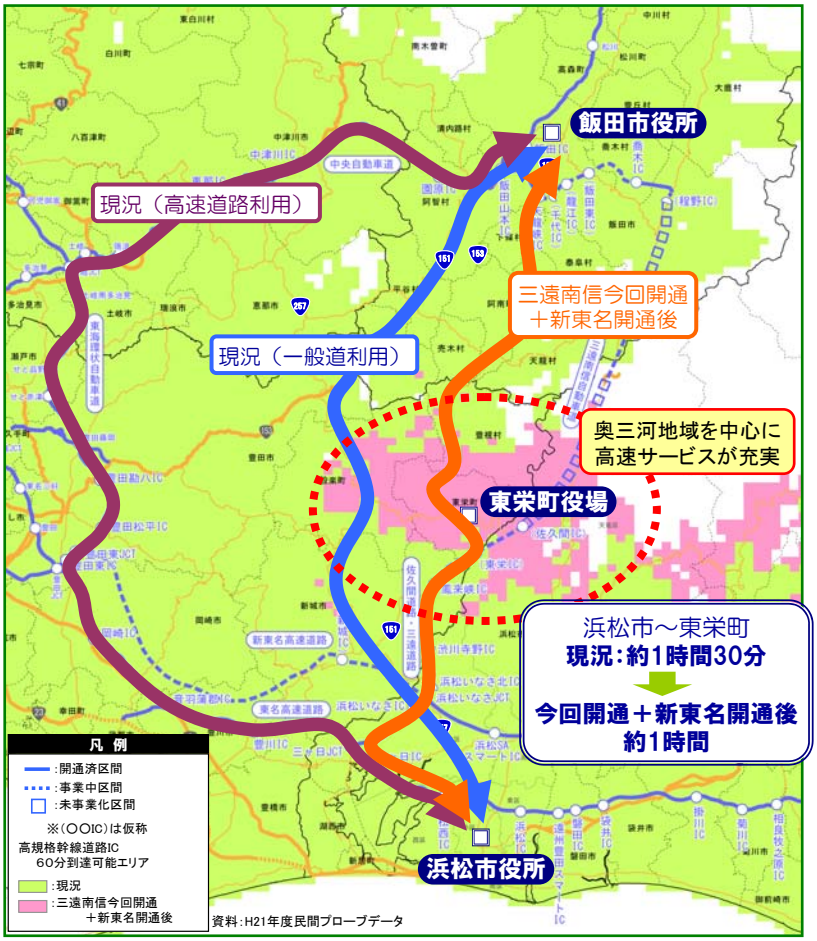


※（○○IC ）は仮称です

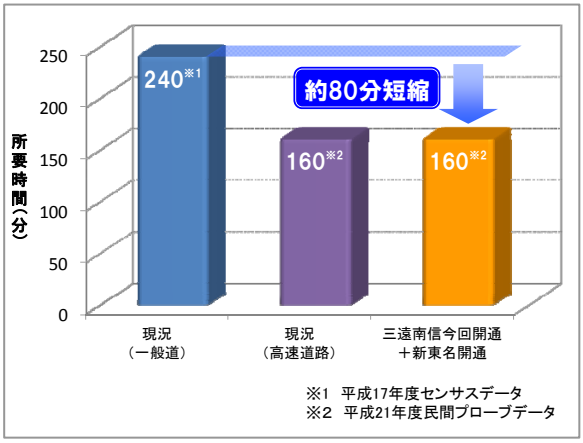
2 鳳来峡IC～浜松いなさ北IC間及び三遠南信自動車道が整備されると

三遠南信地域と広域圏とを結ぶ高速ネットワークの創造

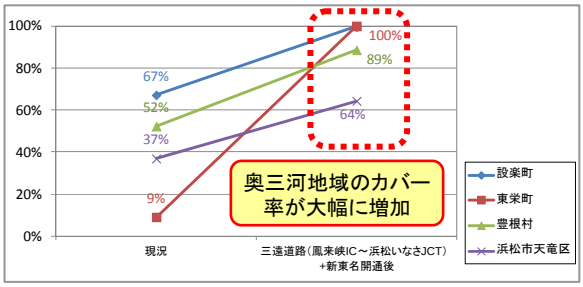
〈高規格幹線道路のICまで60分以内で到達可能なエリアの拡大〉



■所要時間の変化（浜松市～飯田市）



■高規格幹線道路のICまで60分以内到達可能エリアの変化（面積カバー率）



様々な分野での地域活性化を支援します

産業では

○輸送時間の短縮、信頼性の向上等により、沿線地域の産業の活性化を支援します。

観光交流では

○広域的なアクセス性の向上により、観光資源を活用した地域間の交流を促進します。

医療では

○第三次救急医療施設への救急搬送時間の短縮等を通じて、安全・安心な地域づくりに貢献します。

住民の暮らしでは

○移動時間の短縮や災害に強い道路ネットワークの構築により、沿線地域における生活の利便性・安全性の向上に貢献します。

伝統芸能・文化では

○連携・交流を促進し、地域の特色ある伝統芸能・文化の保全・継承を支援します。

3 期待される整備効果　（1）産業

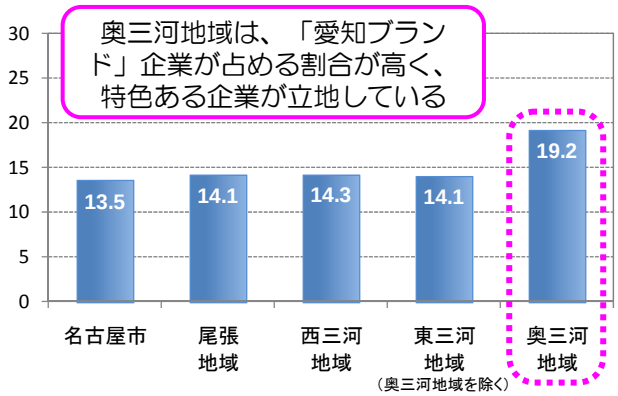
○地域の企業を支援します

・奥三河地域は、製造業の集積・規模から見ると豊橋市等の臨海部と比較になりませんが、「愛知ブランド」を掲げる企業等、特色ある企業が立地しています。
・このような地域を支える企業を支援します。

愛知ブランドとは・・・

優れた理念、トップのリーダーシップのもと、業務プロセスの革新を進め、**独自の強みを発揮**し、環境に配慮しつつ、顧客起点のブランド価値等の構築による顧客価値を形成している製造企業のこと。

■1000社当たりの「愛知ブランド」企業数



※奥三河地域・・・新城市、北設楽郡設楽町、北設楽郡東栄町、豊根村

資料：愛知県 ホームページより

地元企業の声（東栄町）

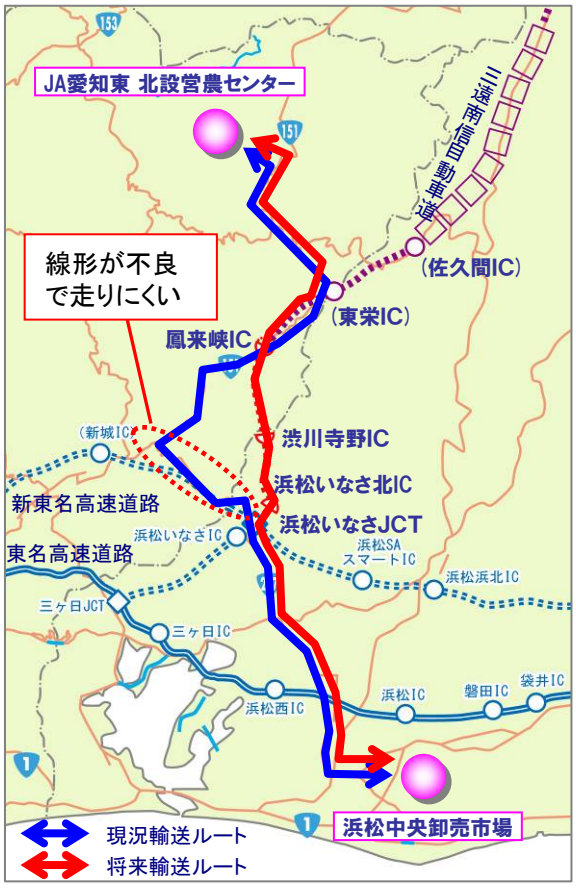
主に絹雲母（セリサイト）を採掘・精製して、化粧品（パウダーファウンデーション）の素材を製造しています。採掘している絹雲母は純度が高く、日本国内のほとんどの化粧品メーカーで使用されています（化粧品業界のサプライチェーンにおけるコアを形成しています）。今回の開通により、**製造品の輸送の速達性、信頼性（災害時等の輸送が安定）が向上**するとともに、メーカーとの技術開発における名古屋への出張打合せが便利となります。また**浜松も通勤圏になることから、従業員の居住の選択も広がります。**

3 期待される整備効果　（1）産業

○“トマト”による交流を支援

・奥三河地域と浜松市はトマトの主たる供給地、消費地といった関係にあり、トマトを介した密接な交流があります。
・ミニトマトに限定すれば、浜松中央卸売市場の7月、8月のほぼ90%が奥三河産であり、夏場の浜松市民の食卓にのぼるミニトマトは奥三河に大きく依存しているといえます。
・今回の開通による時間短縮、スムーズな走行で、鮮度の高い、荷痛みの少ないトマトの輸送が可能となり、三遠道路には“トマトのみち”といえるほどの役割が期待されています。

◆トマトの輸送ルート

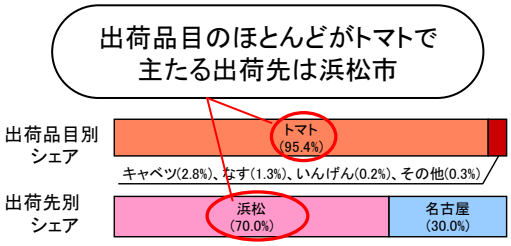


時間短縮で夏場の鮮度の高いトマトを浜松市に提供

JA愛知東 北設営農センター（設楽町）
（約20分短縮）
現況輸送時間：約1時間50分
将来輸送時間：約1時間30分
浜松市中央卸売市場（浜松市南区）

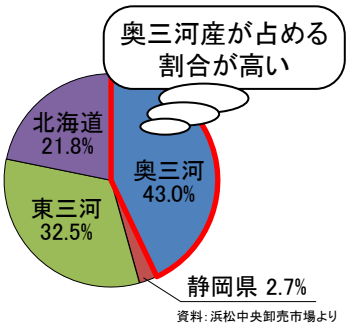
資料：H21年度民間プローブデータ

◆奥三河の農作物出荷の現状



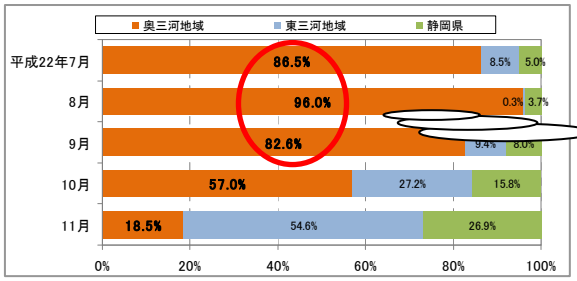
資料：JA愛知東　北設営農センターより

■浜松中央卸売市場のトマト類の産地別シェア（H22年7月～10月）



資料：浜松中央卸売市場より

◆浜松市中央卸売市場におけるミニトマトの取り扱い状況



夏場（8月）の浜松市場で取り扱うミニトマトの90%以上が奥三河産であり、**浜松市のミニトマトの消費は奥三河に依存**しています。

資料：浜松市中央卸売市場より

JA愛知東 北設営農センターの声

JA愛知東 北設営農センターの管轄地域は、東栄町、設楽町、豊根村の2町1村です。農作物としてはインゲン、ナス、コメ等もありますが、出荷量のほとんどがトマトで、主たる出荷先は浜松市（約7割）となっています。

輸送は10ｔトラックで1日1便（多いときで3便）で、朝市に間に合うように市場に届けています。浜松中央卸売市場に至る道路の線形が悪く、荷崩れを心配しながら、輸送しています。降雨時には段ボール箱が濡れて変形しやすく、特に注意が必要となっています。

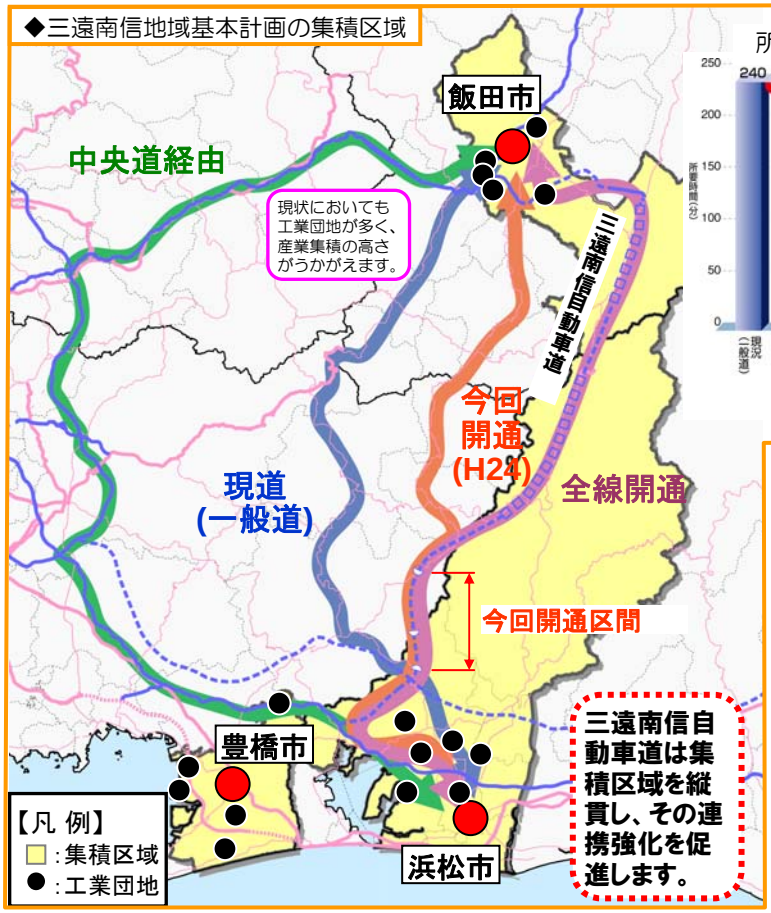
今回の開通による**時間短縮で、夏場の鮮度低下を防ぐことができるとともに、線形が良好であることから、輸送が楽になるものと期待**しています。

3 期待される整備効果　（1）産業

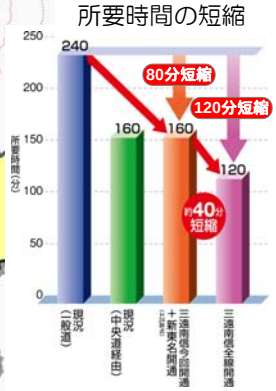
○産業イノベーションの創造を支援します

・平成22年3月に「三遠南信地域（浜松市、豊橋市、飯田市）基本計画」が3市の間で同意され、新産業の創造とその基幹産業化が目指されています。
・当計画の実現のため、「三遠南信クラスター推進会議」により、産業イノベーションの創造に向けた取組みが進められています。
・今回の開通区間も含め、三遠南信自動車道の整備は地域間の連携強化を通じて、産業イノベーションの創造に貢献します。

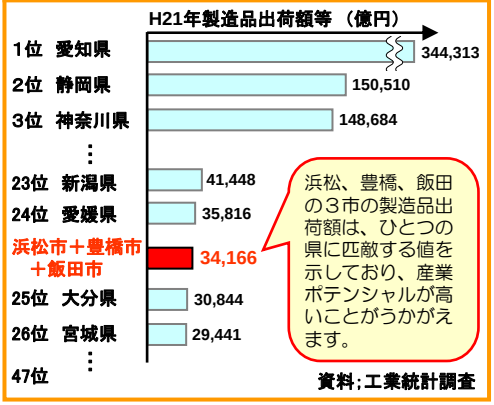
◆三遠南信地域基本計画の集積区域



所要時間の短縮



◆三遠南信地域基本計画の集積区域の現状



資料；工業統計調査

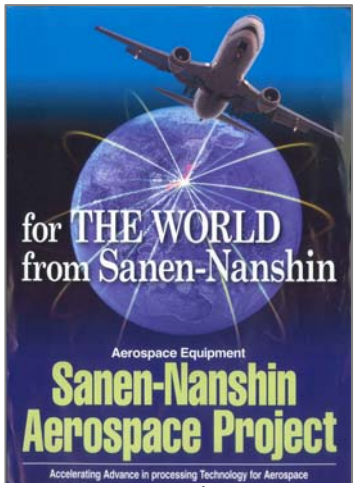
◆三遠南信クラスター推進会議のクラスタープロジェクト

次世代輸送用機器産業	次世代技術開発のために必要とされる材料や技術を活かし、大手メーカーと中小企業の有機的な連携を推進します。
光・電子産業	レーザー加工、イメージング、センシング等の光・電子技術の強化と地域内外のネットワーク強化を図っています。
健康医療産業	三遠南信地域企業の健康医療産業への参入促進を図ります。
航空宇宙産業	三遠南信地域の基盤技術を航空宇宙分野に活用し、地域特性を生かした連携を促進します。
新農業	ものづくり製造業の持つ技術・ノウハウの導入による効率性の向上、高付加価値化、有効利用化による収益構造の改善等を進め、活力向上を図ります。

（財）飯伊地域地場産業振興センター　担当者の声

当センターは「三遠南信クラスター推進会議」の事業実施主体のメンバーとして活動しています。活動は国内だけでなく、パリ・エアショー2011に“Sanen-Nanshin Aerospace Project”という名称で出展するなど**海外にも三遠南信地域を一つのエリアとしてアピール**しています。

「三遠南信クラスター推進会議」が目指す新たな産業分野でのイノベーションの創出には**研究開発や人材育成にかかわる人的交流が不可欠**です。今回の開通及び三遠南信自動車道の全線整備により飯田から浜松・豊橋方面への移動時間が大幅に短縮されます。この移動時間の短縮で、地域間交流がこれまで以上に活発となり、**地域間連携による産業イノベーションの創出が促進されることを期待**しています。



三遠南信航空宇宙クラスタープロジェクトの紹介パンフ

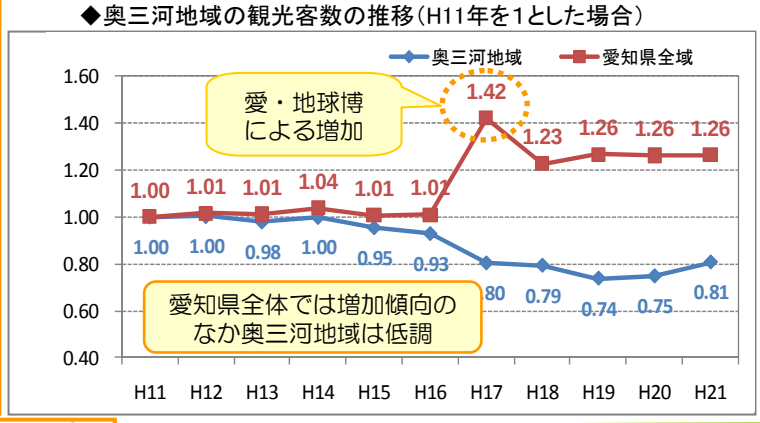
3 期待される整備効果　（2）観光交流

○観光交流の活性化を促進

・奥三河には、多彩な観光資源が分布しているにもかかわらず、観光客は減少傾向にあります。
・近年、地元では芝桜まつり（豊根村）、東栄フェスティバルといったイベントが開催されるなど、観光交流の活性化に取り組まれています。
・今回の開通区間による回遊性の向上は、このような地元の取り組みを支援し、観光交流の活性化を促進します。

【写真】出典：とよね観光株式会社

◆奥三河地域の観光客数の推移（H11年を1とした場合）



旅行会社の声（浜松市）

三遠南信地域の主たる旅行商品は浜松から天龍峡に至るバスツアーです。スケジュールの関係から、ルートは東名～東海環状～中央道を利用した往復同ルートのピストン走行となっています。鳳来峡IC～浜松いなさ北ICが開通すれば、浜松～（今回開通区間）～奥三河（茶臼山 高原等）～道の駅（信州新野千石平）～天龍峡 ～（中央道・東名等）～浜松といった**周遊型のルートが可能となり、観光面での魅力が向上するため、ルートを変更する可能性が大です。** しかも開通される区間が無料であり、コストダウンにつながることから、大いに期待しています。

3 期待される整備効果　（2）観光交流

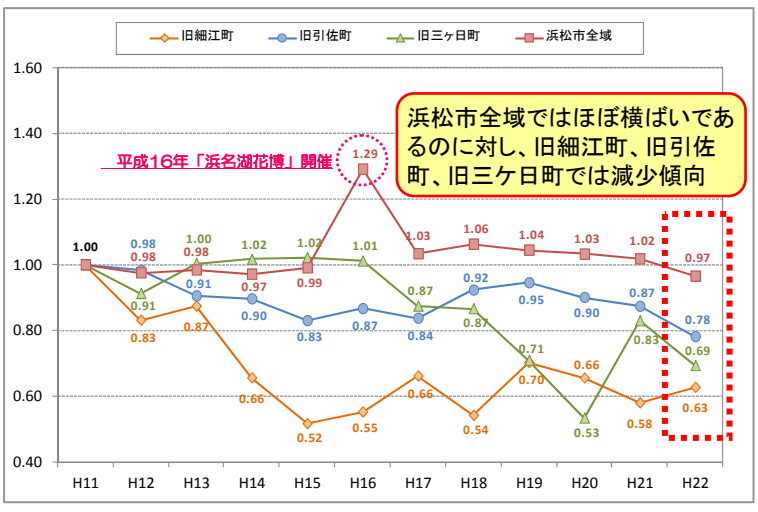
○観光交流の活性化を支援

・浜松市全体の観光交流客数は横ばい傾向にあるのに対し、奥浜名湖地域（細江、引佐、三ケ日）では自然、歴史･文化に係る多彩な観光資源に恵まれていますが、減少傾向にあります。
・このような状況を打開するため、地元では民間、行政が連携して様々な取組みがなされています。
・今回の開通による広域的なアクセス性の向上で、このような地元地域の観光交流の活性化に向けた取り組みを支援します。

◆奥浜名湖エリアの観光資源

■湖北五山めぐりガイドブック

奥浜名湖地域の歴史文化をより多くの人に体験してもらうため、「奥浜名湖観光連絡協議会」が関係機関と連携して、周遊観光ルートやサイクリングルート等の企画を行いながら、“湖北五山めぐりガイドブック”を作成しました。



資料：浜松市観光交流課

湖北五山　住職の声

奥浜名湖地域で連携しながら、交流の活性化に取り組んでいるとともに、奥三河との歴史・文化の交流や台湾等との国際交流も進めています。

参拝者は関東圏、名古屋方面から来られる方が多くなっていますが、長野県以北の参拝者も見受けられます。今回の開通により、**より多くの方に奥浜名湖地域の歴史･文化を楽しんでもらう機会が増加するとともに奥三河等他地域との連携の強化も期待**できます。

3 期待される整備効果　（3）医療

○地域の医療サービスの向上に寄与

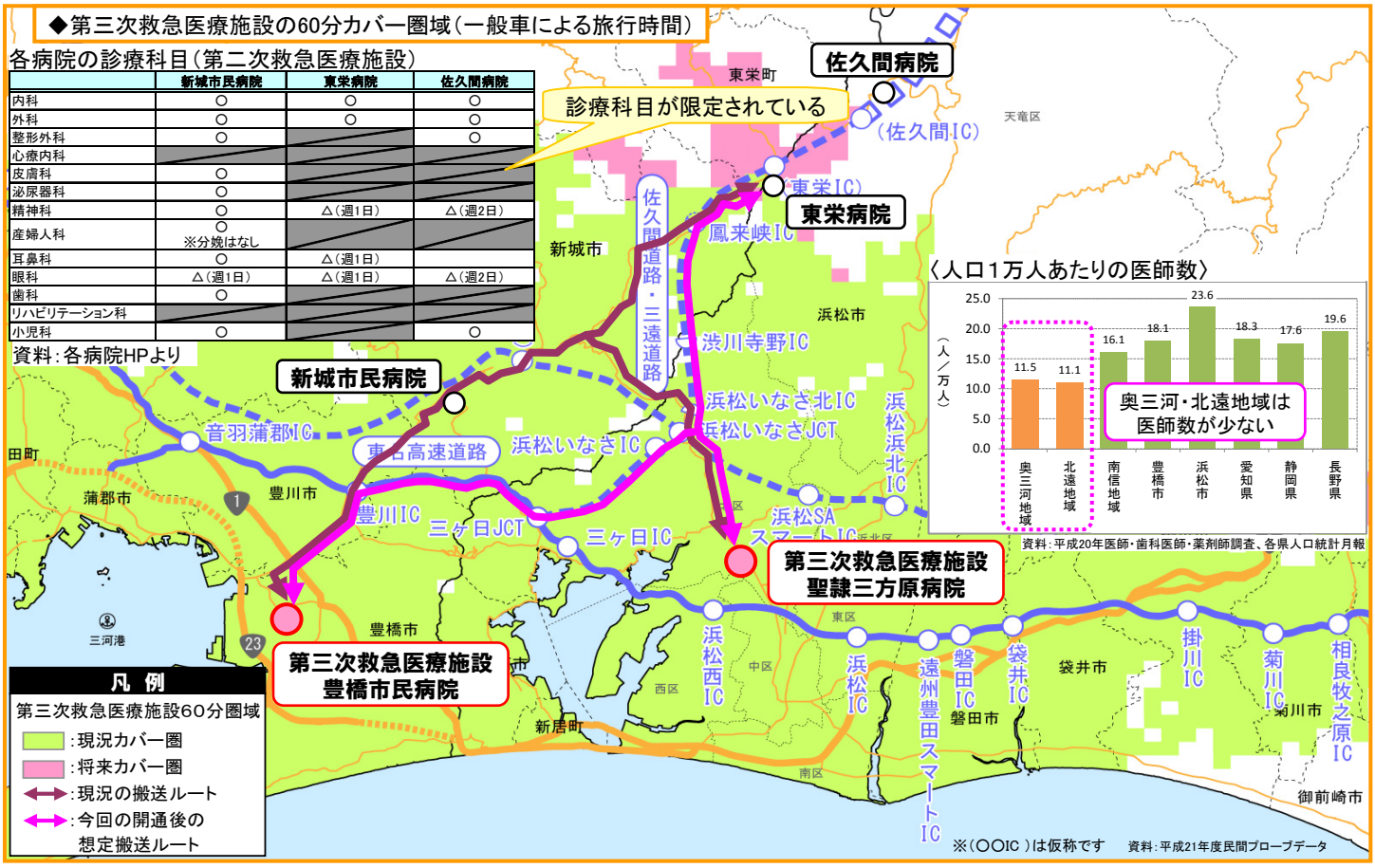
- 奥三河では医師が不足しており、地域の第二次救急医療施設では診療科目が限定されているため、科目によっては都市部の病院に依存しています。
- 重篤の救急患者や専門医療は、豊橋市民病院、聖隷三方原病院といった第三次救急医療施設で対応する必要があります。
- 第三次救急医療施設までの時間短縮により、救命率や専門医療サービスが向上し、安全・安心な地域づくりに貢献します。

◆第三次救急医療施設の60分カバー圏域（一般車による旅行時間）

各病院の診療科目（第二次救急医療施設）

	新城市民病院	東栄病院	佐久間病院
内科	○	○	○
外科	○	○	○
整形外科	○		○
心療内科			
皮膚科	○		
泌尿器科	○		
精神科	○	△（週1日）	△（週2日）
産婦人科	○ ※分娩はなし		
耳鼻科	○	△（週1日）	
眼科	△（週1日）	△（週1日）	△（週2日）
歯科	○		
リハビリテーション科			
小児科	○		○

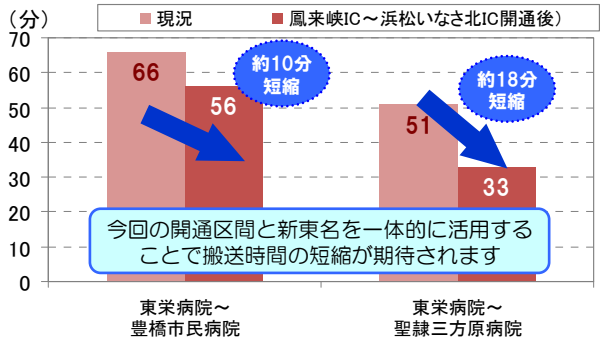
資料：各病院HPより



〈人口1万人あたりの医師数〉

資料：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査、各県人口統計月報

◆救急車による搬送時間



	東栄病院～豊橋市民病院	東栄病院～聖隷三方原病院
平成22年度搬送実績	27件	6件

資料：新城市消防本部ヒアリング結果

新城市消防本部の声

奥三河地区において緊急度・重症度の高い傷病者が発生した場合、東三河医療圏や県境をまたいだ浜松医療圏の病院までの**搬送時間が短縮されることにより、救命率の向上**が見込まれます。

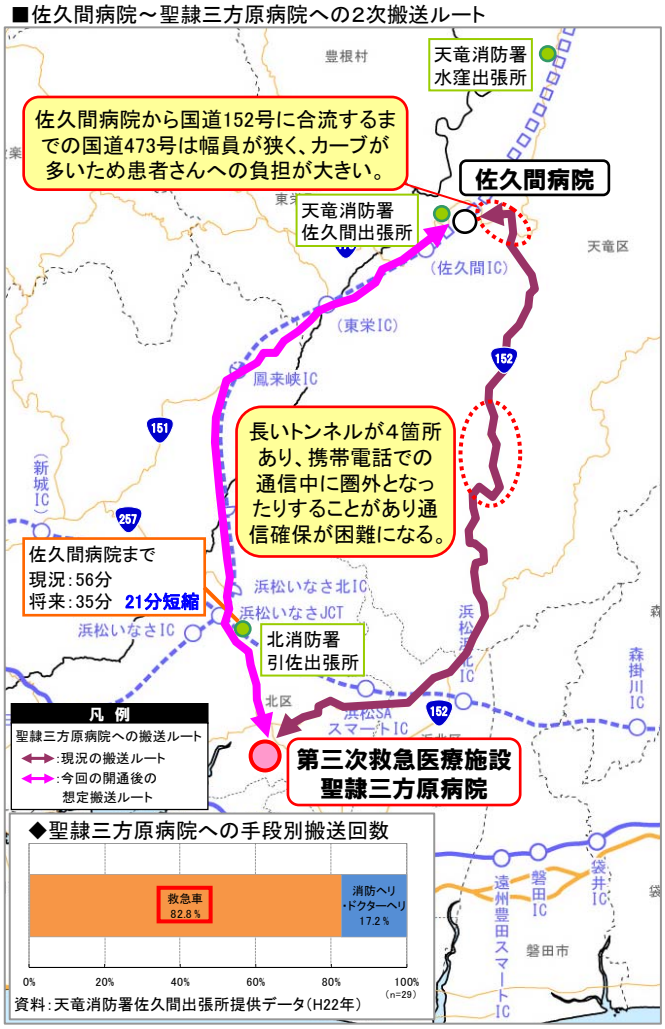
また、山間地区特有のカーブなども三遠道路により解消されるため、**傷病者の負担軽減**に繋がるものと考えます。

3 期待される整備効果　（3）医療

○救命率の向上と救急医療体制の充実に寄与

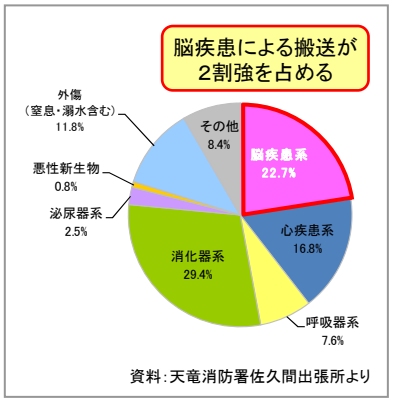
・北遠地域の救急医療は佐久間病院で初期治療を行い、重篤患者、専門医療を要する患者は聖隷三方原病院等に２次搬送されます。
・現状では聖隷三方原病院への搬送が長時間に及ぶこと、搬送中の揺れが多いことにより、患者さんに大きな負担を強いています。
・今回の開通で、搬送時間の短縮や救急車のスムーズな走行により、救命率の向上と患者さんへの負担の軽減が可能となります。
・そして、この搬送時間の短縮は消防署間の連携強化や署員不在時間の低減を通じて、救急医療体制の充実に寄与します。

■佐久間病院～聖隷三方原病院への2次搬送ルート

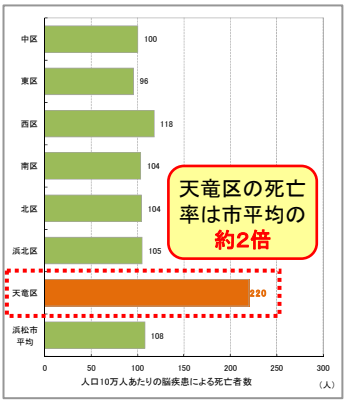


≪佐久間病院⇒聖隷三方原病院への2次搬送実績≫

◆聖隷三方原病院への疾患別搬送回数（H18～H22の5年間）

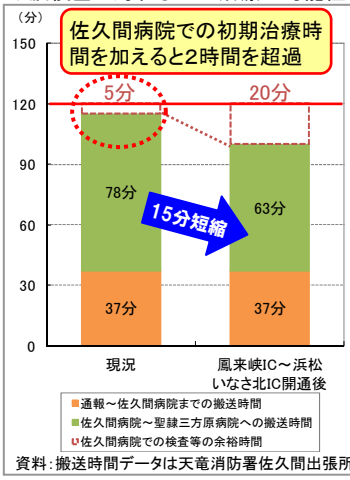


◆脳疾患による死亡率（H22年）



資料：静岡県人口動態統計

◆脳梗塞に対するt-PA治療の可能性



今回の開通区間を利用することで病院までの搬送時間を短縮し、t-PA治療による救命率の向上が期待されます

≪ｔ-PA療法による投薬治療≫

ｔ-PA療法（血栓溶解療法）とは脳梗塞が発症した際に薬剤（ｔ-PAと）を投与して血栓を溶解させる治療法です。

治療は発症から遅くとも３時間以内に開始する必要があり、検査等に必要な時間を除くと**２時間以内に病院に搬送される必要があります**。

資料：搬送時間データは天竜消防署佐久間出張所提供

浜松市天竜消防署佐久間出張所の声

今回の開通により、**佐久間病院から聖隷三方原病院までの搬送時間が短縮され、救命率の向上が期待**できます。特にｔ-pa治療は現状ではヘリでの搬送でないと間に合いませんが、開通後は救急車による搬送が可能となります（夜間や荒天時のヘリ搬送は不可）。

出張所には常時4人が詰めていますが、災害時又は管内業務等で不在となった場合、水窪出張所に応援をしてもらいます。開通後は**引佐出張所からの出動が近くなるので、出張所間の連携が強化され、地域全体の救急医療体制が充実**されます。

3 期待される整備効果　（4）住民の暮らし

○生活利便の向上と新たなライフスタイルの支援

・奥三河等中山間地域では生活の様々な面で都市に依存しています。
・生活利便の向上と定住促進のためには浜松市等都市部との連携強化が重要です。
・今回の開通及び新東名の開通により、現在の生活利便が向上するとともに「住まいはゆったりとした奥三河で、就業は浜松市で」といったライフスタイルの実現も支援します。

◆東栄町から都市部までのルート

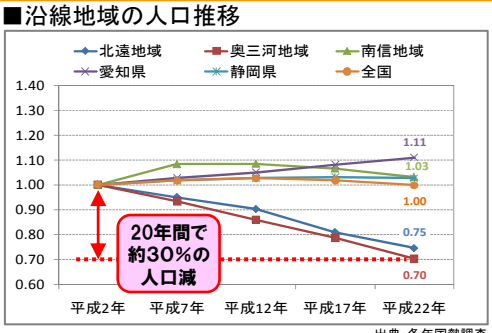
■日常生活における都市部への依存度

出典：三遠南信地域住民行動・意識アンケート調査（平成17年）

区間	現況	鳳来峡IC～浜松いなさ北IC開通後	短縮効果（現況）－（開通後）
東栄町→浜松市中心市街地	約1時間30分	約1時間	約30分短縮
東栄町→豊橋市中心市街地	約1時間20分	約1時間	約20分短縮
東栄町→大規模SC（プレ葉ウォーク）	約1時間10分	約50分	約20分短縮

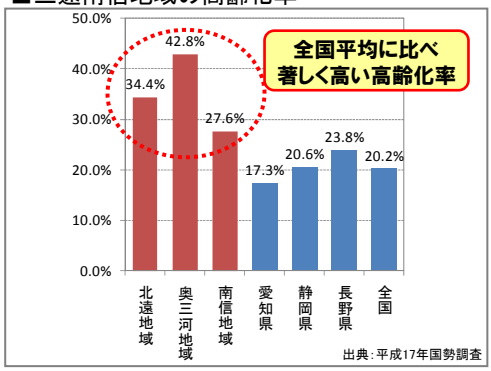
※（○○IC ）は仮称です

■沿線地域の人口推移



出典：各年国勢調査

■三遠南信地域の高齢化率



出典：平成17年国勢調査

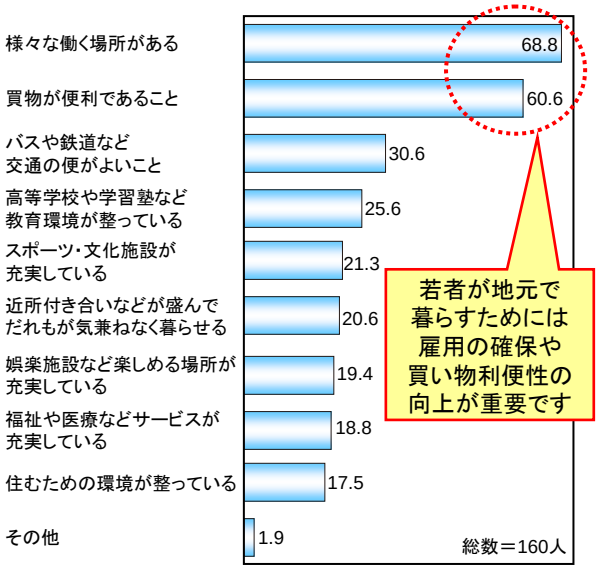
北遠地域	浜松市天竜区
奥三河地域	設楽町、東栄町、豊根村
南信地域	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、 泰阜村、天龍村 売木村、平谷村、根羽村、下條村、清内路村

東栄町Uターン者の声

名古屋市からUターンで東栄町に戻って10年になります。やはり都市部と比較して、東栄町の不便さは否めません。買い物するのにも地元では品揃えが悪く（衣服等は高齢者向けが多く、食料品は新鮮なものが少ない）、医療も専門科目は限定されていること等から、浜松市や豊橋市にまで時間をかけていくことがしばしばあります。今回の開通後は大幅な時間短縮が可能となり、生活の便利さが向上します

また、**浜松市等の都市部への通勤も可能になることや、生活の利便性も向上することから、Uターン者の増加に期待**しています。

■東栄町で暮らしていくために重要なこと（町内在住中高生）



資料：中高生まちづくりアンケート調査、東栄町

3 期待される整備効果　（4）住民の暮らし

○災害に強い道路ネットワークの構築

・北遠地域（佐久間、水窪）の道路は山間部という地形のため脆弱なネットワークとなっています。
・平成22年7月豪雨や平成23年9月の台風12号、15号などによる大雨・土砂災害により、地域の道路が各地で寸断される事態が頻発しています。
・今回の開通により、緊急輸送道路の確保や異常気象時の通行止め等に対する、リダンダンシーの確保が可能となります。

◆台風15号（H23年9月）被害状況

国道152号（天竜区　龍山）

◆開通後は異常気象時のリダンダンシーを確保！
（台風15号の被害例）

○台風通過後も国道152号（龍山）で大型車通行規制が続き、大型車は大幅な迂回が強いられました（所要時間４０分増）。

○佐久間ダムの堆砂運搬ダンプ、木材運搬トラック、ガソリンタンクローリー、大型運送車、大型し尿処理車及び遠鉄バスなど、地域の産業や生活に大きな影響を及ぼしました。

リダンダンシーとは
自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶が交通ネットワーク全体の機能不全につながらないように、あらかじめネットワークが多重化されていることを示します。

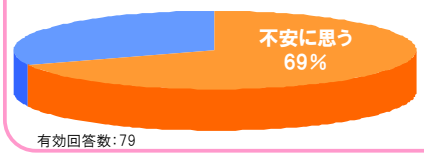
資料：浜松市

地域の声（平成22年7月豪雨時のアンケートより）

地域住民の約７割の方が、大雨による通行止めや土砂崩れの発生に対して不安に感じています。

災害以外の通常時においても、急病やけが等による救急搬送時や日常生活等でも約４割の方が不安に感じています。

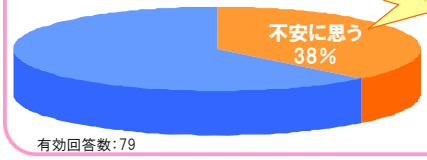
＜大雨による土砂崩れ・通行止め発生への不安＞



主な意見
・大雨による災害への不安
・災害発生時の孤立化への不安

有効回答数：79

＜救急搬送時の不安＞



主な意見
・通行止め時の救急搬送への不安
・ドクターヘリの飛行困難時への不安

有効回答数：79

＜狭い道路への不安・不満（危険性の指摘）＞

主な意見
・交通事故への不安
・観光客が敬遠

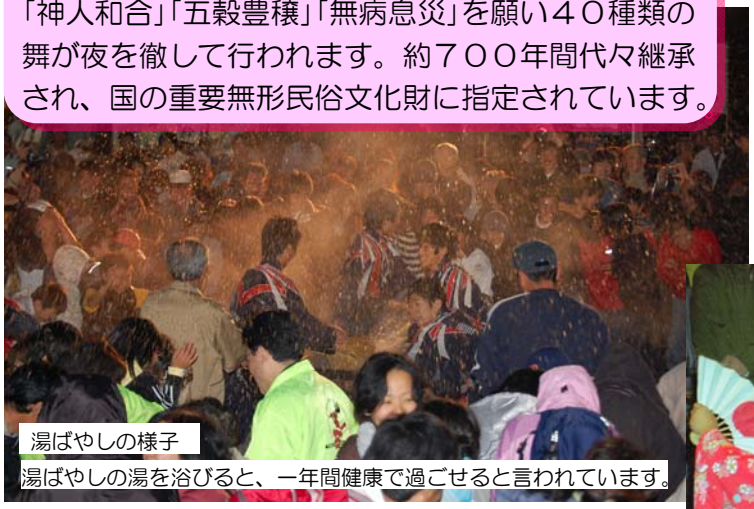
有効回答数：79

3 期待される整備効果　（5）伝統芸能・文化

○地域固有の伝統芸能・文化の継承を支援します

・奥三河地域の花祭りは、古来から継承されている神事ですが、少子高齢化の進展により、後継者（舞手）が不足し、祭りが消滅した集落もあります。
・近年では、広域的な交流を通じて、花祭りを広く紹介するため、「東栄フェスティバル」が開催されています。
・今回の開通及び新東名の開通により、地域と都市部との交流を促進し、このような地域固有の伝統芸能・文化の継承も支援します。

花祭りとは、鎌倉・室町時代から続く神事で、「神人和合」「五穀豊穣」「無病息災」を願い４０種類の舞が夜を徹して行われます。約７００年間代々継承され、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



湯ばやしの様子
湯ばやしの湯を浴びると、一年間健康で過ごせると言われています。

◆花祭り

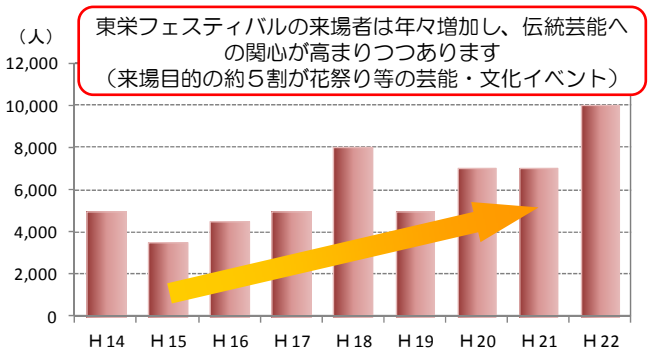
80年間で約30%（７集落）の花祭りが消滅

●旧津具村、東栄町、豊根村の花祭り開催集落数
昭和５年頃　22ヶ所　⇒平成２３年　15ヶ所
※豊根村では７つあった花祭りが３つにまで減少
資料：昭和5年頃の集落数は「花祭り」－早川孝太郎－より

花の舞の様子
花の舞では、こどもの舞子たちが舞います。

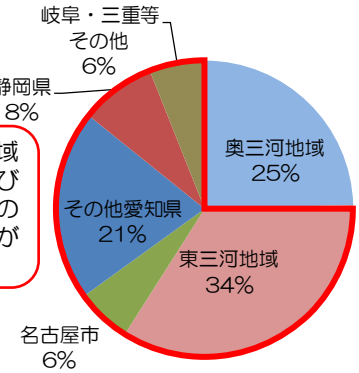
◆東栄フェスティバルの実施状況

■延べ来場者数の推移



東栄フェスティバルの来場者は年々増加し、伝統芸能への関心が高まりつつあります
（来場目的の約５割が花祭り等の芸能・文化イベント）

■来場者の居住地



来場者の多くは奥三河地域外からで、今回の開通及び新東名の開通により多くの来場者の所要時間の短縮が期待できます

奥三河地域
　新城市、設楽町、東栄町、豊根村
東三河地域
　豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市

奥三河ふるさとガイドの声

「花狂い」といわれる人がいます。花祭りに魅了され、花祭りに通い詰める人です。都市部の「花狂い」の人が花祭りに参加するようになったのが、都市部との交流の始まりです。奥三河では花まつりの舞手が確保できず、祭り自体が成立しないことから伝統芸能の保存・継承のため、都市部の人たちにも舞手として参加してもらっている集落もあります。

今回の開通により、**都市部からのアクセスもよくなり、花祭りを通じた都市部との交流がより一層活発になることを期待**しています。

3 期待される整備効果　（5）伝統芸能・文化

○交流による伝統芸能の広がりと深まりを支援

・佐久間道路・三遠道路の沿線は「遠江のひよんどりとおくない（寺野・川名・懐山）」や「西浦田楽」、「川合花の舞」、歌舞伎（浦川・横尾）等の伝統芸能の宝庫です。
・地元ではポスターやガイドブック作成等 これら伝統芸能の保存と伝承に向けた取組みが活発です。
・今回の開通で、交流・連携が促進され、伝統芸能の“輪”が広がり、深まることが期待できます。

川合花の舞

浜松市HPより

開催日：毎年10月最終土曜
会場：八坂神社（天竜区佐久間町川合）
主催：川合花の舞保存会

佐久間町川合に鎮座する八坂神社に伝承されている湯立神楽で、舞処（まいど）の中央に大きな湯釜を据えその周りで芸能が演じられます。現在は18の演目が保存会により奉納されています。

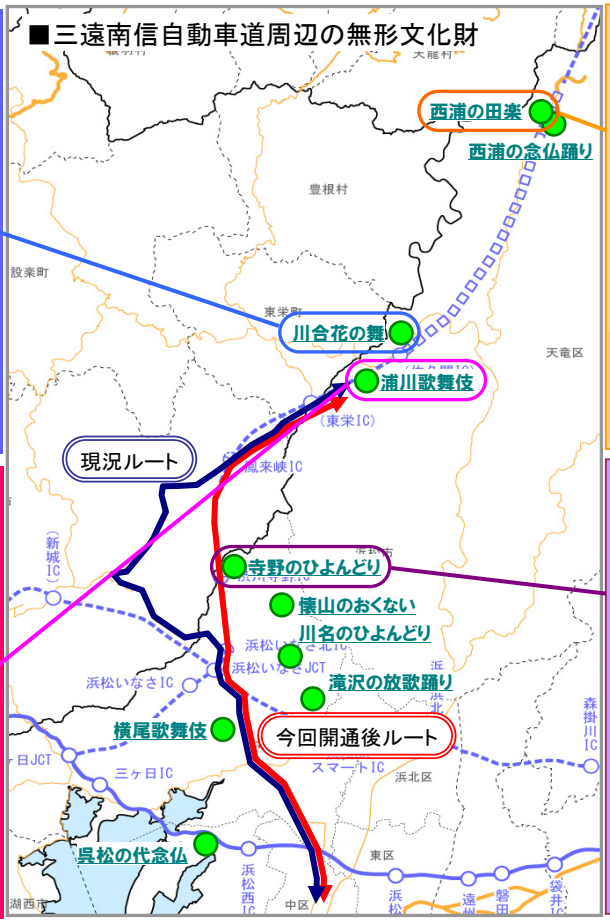
浦川歌舞伎

浜松市HPより

開催日：毎年9月第4土曜
会場：旧浦川中学校体育館（天竜区佐久間町浦川）
主催：浦川歌舞伎保存会

江戸の歌舞伎役者・尾上栄三郎による歌舞伎の上演が発端となり、地域に継承されてきた素人歌舞伎です。昭和30年代に途切れてしまいましたが、昭和52年より有志による保存会の手により伝承されています。

■三遠南信自動車道周辺の無形文化財



西浦田楽

浜松市より

開催日：毎年旧暦の1月18日～19日
会場：西浦観音堂境内（天竜区水窪町西浦）
主催：－

五穀豊穣、無病息災、子孫長久を祈り、水火の難を除く神事で、現在はわずか13戸の能衆により、何一つ崩すことなく頑なまでに原型のまま伝承されています。

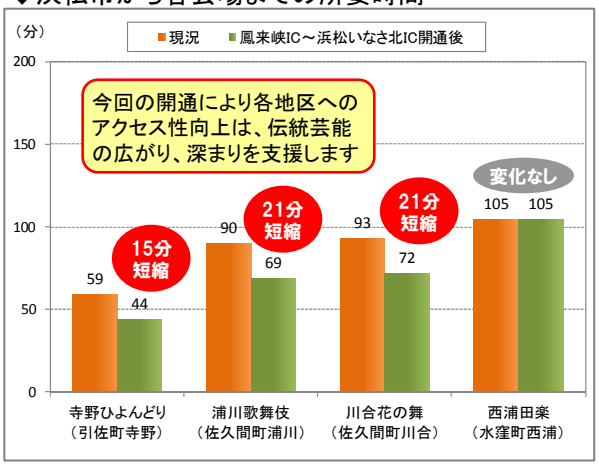
寺野ひよんどり

開催日：
毎年1月3日
会場：
直笛山宝蔵寺
（北区引佐町渋川）
主催：
寺野伝承保存会

浜松市HPより

ひよんどりとは火踊りがなまったものといわれており、浜松市引佐町渋川の直笛山宝蔵寺、通称「寺野三日堂」にて毎年1月3日に保存会により五穀豊穣を祈願する厳粛な舞を奉納しています

◆浜松市から各会場までの所要時間



資料：H21年度民間プローブデータ

遠江のひよんどりとおくない連絡協議会の声

数百年から千年になんなんとする祭りは山懐に抱かれるように静かな山里に伝えられてきたものです。そのため、これまでは、訪れるのに道が狭く、難渋したものです。

今回の開通により、**多くの方が現状と比べ、ずいぶんと楽に訪問することができます**。多くの方のエールが祭りを司る者の励みになります。孤立しがちな各地の祭りの担い手が相互に連携しあってその価値を再認識することにもなろうかと思います。

奥三河の花祭りや南信州の霜月祭り等の各地の伝統芸能が集い、交流を広げ、深めていく上で、三遠道路が重要な役割を果たす、まさに「祭り街道」になることを期待しています。